

ガバナー 月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
2023-2024 Rotary International District 2630



4

2024/APR.

vol.10



第2630地区のHPはスマートフォンでもご覧いただけます。



第2630地区のFacebookはこちらから。
(登録が必要です)

Contents

- 2023-2024年度 第2630地区ガバナーメッセージ
- 第2630地区 社会奉仕委員会 委員長メッセージ
- 活動事業報告
- 第2630地区 会員数報告
- 第2630地区 会員動静報告
- ガバナーノミニー決定宣言

環境月間



居心地の良いクラブづくり

環境月間

2023-2024年度
国際ロータリー第2630地区ガバナー

篠原 一行 (多治見リバーサイドRC)

ロータリーの基本は各クラブです。地区は各クラブの応援団です。ロータリーに入って、ロータリーの理念も素晴らしさもわからないまま、3年までに退会するメンバーが多くいます。本当にもったいないと思いますし、とても残念ではありません。中には、「ロータリーに入ってもロータリーの話が、聞けない」という理由で辞めていく人も多くいます。例会での会長挨拶はとても大切です。時々ロータリーの話を楽しみましょう。

また、「クラブ研修リーダー」は、ロータリークラブの基本的な力（知識）を身に付け、ネットワークが機能するためにできました。ネットワークの一員である各クラブが強化されることによって、全体の力が向上していくと思います。クラブ会員それぞれが、ロータリーに対して積極的になり、親睦を図りながらロータリーを学び、ロータリーを好きになり、価値ある奉仕を実践することで、意識の高揚が育まれ人間力が高まり、それが魅力あるクラブに繋がり、居心地の良いクラブとなっていくのではないのでしょうか。

さらに、クラブの会員を増やすことは勿論大切なことですが、会員増強の“強”の部分が大切です。ロータリー活動に積極的に参加し、親睦・学び・奉仕、人間力を高めるには、思いやりの精神を常に心に抱いて努力する。与えられた役職を真剣に遂行し、奉仕活動に対し踏襲することなく新しい風を取り入れていくなど、自分自身を磨く絶好の組織がロータリーなのです。

今月は「環境月間」です。環境問題とは、経済活動や日常生活などの人間の活動によって生じる、地球環境へのさまざまな悪影響を意味します。自動車による排気ガスや火力発電などにより、大気中の二酸化炭素 CO2 が増加することで

平均気温が上がり、北極や南極の氷山が溶けて海面が上昇する問題が起きています。また、汚染された生活排水の河川への流出が原因で、魚類が減少していることも環境問題のひとつです。こうしたケースは環境問題の一部であり、現在ほかにもさまざまな環境問題が私たちの身近なところで発生しています。

日本の平均気温は 100 年間で 1.3 度気温が上昇しています。毎年夏になると「最高気温を更新しました。」と伝えるニュースが当たり前になっています。気温が上昇するとエアコンを使う頻度が高くなるため、それだけ電力の消費が増え、電力供給に問題が起こるという悪循環を引き起こしています。そのほかに、有害な工場排水や生活排水が河川へ流れ込むことにより「ダイオキシン」と呼ばれる有害物質が魚類に取り込まれている、という問題も起きています。このように、環境問題は私たちの生活の身の回りで発生しています。

ロータリーは、「天然資源の保全と保護」を促進し、「環境の持続可能性」を高め、「人と環境との調和を促す活動」を支援しています。補助金やその他のリソースを提供し、地域特有のソリューションと革新を奨励しながら、気候変動と環境破壊の原因、およびその影響の削減に取り組んでいます。そして、ロータリーは長年、何千もの環境保護プロジェクトを実施してきました。過去 5 年間だけでも、環境保護プロジェクトに費やした資金は 1800 万ドル以上になります。ロータリーの重点分野に新たに「環境」が加わったことで、環境問題に取り組む機会がさらに増え、世界で様々な奉仕プロジェクト事業の実践をしています。

社会奉仕委員会より



国際ロータリー第2630地区
社会奉仕委員会委員長

石田 公司 (美濃加茂RC)

ロータリーの社会奉仕について

4月です。各クラブでは次年度会長をはじめリーダーたちが新しい年度に向けてどのようなクラブにしようか思案している時期でしょうか。地域社会に対する奉仕（社会奉仕）も考えられていることでしょう。

ここでロータリーの社会奉仕（コミュニティ・サービス）について少し復習してみます。

奉仕の第三部門として規定されている社会奉仕は、クラブの所在地域または行政区域内に住む人の生活の質を高めるため、時には他と協力しながら、会員が行う様々な取り組み（プロジェクト）からなります。

社会奉仕プロジェクトを考え出すには、地域のニーズを探り拾い上げることが大事です。地域の困りごとや行政、他団体の動きに耳を傾け何をすれば地域の生活の質を高め、より良いことができるかを考えます。そして考え付いた案を実践する時には

- ・地域社会と関連していること
- ・ロータリアンにとって学びの機会となること
- ・地域社会におけるロータリークラブの役割を見出すこと
- ・現状の支援策をロータリアンがどのような援助をできるか

を考えて実施することが肝要です。

社会奉仕は「超我の奉仕」を実践する機会です。地域に住む人々の生活の質を高め公共のために奉仕することは、すべてのロータリアン個人にとっても、またロータリークラブにとっても献身に値することであり社会的責務でもあります。

それでは地区内で行われた奉仕プロジェクトを一つ紹介します。

関中央ロータリークラブでは、「ひとり親家庭の子ども学習支援プロジェクト」を実施しました。このクラブではこれまでの奉仕活動の中からひとり親家庭の貧困が問題になっており、貧困から起きるひとり親家庭の子供たちの学習機会が不足していることに気づきました。

会員に対して貧困問題のゲスト卓話を開催し知識を蓄えるとともに、子供たちに夢をあたえ親子で触れ合えるような事業はないかと考えました。

ひとり親の子どもたちに夏休みに親子でトヨタ産業技術記念館を観覧して親子の触れ合いの機会を作るとともに、子供たちに夢を与える科学の世界を知ってもらいまた夏休みの宿題や自由研究の手助けになるような勉強会を開催するプロジェクトを考えました。

さらに実施に当たって、コロナウイルス感染症対策の為に、勉強会当日に急遽欠席になった親子が数組発生して参加出来ずに残念に思っていた子供たちのために、補助事業として、里山学習会（自然観察講習会）を計画し開催しました。

クラブ員全員が携わったこれらのプロジェクトには合計 50 名の親子が参加し、事業は新聞や広報を通じて報じられました。また、行政、NPO 法人、地域の各種団体の多くの協力をいただきました。この事業には地区補助金が申請され使用されました。

第 2630 地区では資金が足りなければ地区補助金、新しくできた奉仕プロジェクト補助金を用意しております。上手に利用して皆様のクラブでも奉仕プロジェクトを是非進めてください。よろしく願います。

地区補助金事業「たじみふれあい食堂」

多治見リバーサイド RC プロジェクトチーム

現在日本では 17 歳以下の子どもの 6 人に 1 人が貧困状態であると言われています。また 1 人で食事を摂らざるをえない状況に置かれた子どもも少なくありません。助けが必要な子どもたちや両親、および地域の方々に対し、無料（もしくは安い価格）で食事を提供するコミュニティーが必要と考えました。

その為に貧困家庭や孤食の子どもに対し、食事や安心して過ごすことのできる場所を提供する場の創出が必要です。地域のすべての子ども、親、地域の方々など対象を制限しない食堂をつくることで、子どもとの交流や家庭的な雰囲気を味わう事で、孤立しがちな同世代との交流可能な場所が出来、また地域の方々にもふれあい食堂を知ってもらうことで、貧困層の食品や食事の確保など居場所が出来、協力や交流、相談の提供にも繋がります。

この事業がきっかけになり、地域を知り、助け合い、食育の大切さ、格差の是正、そして未来に繋がる地域の創生、安定的な生活基盤づくりに寄与できる重要な奉仕プロジェクトになることを目指しました。

開催期間

2023 年 7 月 1 日～2024 年 2 月 31 日

開催内容・日時

- 第 1 回 9/23(土) 弁当配布(次回イベント告知)
- 第 2 回 10/29(日) 秋の収穫祭「おにぎり豚汁」
- 第 3 回 11/19(日) 弁当配布(次回イベント告知)
- 第 4 回 12/23(土) クリスマスイベント「ケーキづくりとカレー」
- 第 5 回 2/3(土) 節分「恵方巻づくり」

開催会場

旭ヶ丘公民館、他

開催メンバー

多治見リバーサイドロータリークラブ

協力、共催

多治見西高校インターアクトクラブ、多治見市、各協力団体、市内飲食店、食材店など

毎回、120 食分を用意。回を重ねるごとに、認知度は上がり、開始時間前から行列ができるようになりました。

弁当の配布時は、家族構成や日常生活などを感じ取り、出来るだけ会話を心掛けました。体験イベントの際には、出来合いの食べ物ではなく、おにぎり握りやケーキ作り、恵方巻を一緒に作り、「食」の大切さや有難さを感じて頂くように進めました。子どもたちだけでなく、高齢者の孤食の方、支援を受けているとみられるご家族、普段、手作りの食事を摂っていない方など、様々な地域の方々がお見えになりました。

食を通じ、様々な職業や団体が協力し、子どもたちに未来を、地域の方々には希望を創り上げていくことが必要だと改めて感じ、このような活動がその原点になると思いました。

この補助金事業も単発ではなく、いかに継続的に行っていくか、社会奉仕、職業奉仕という理念を持ち、ロータリークラブの本当の意義を示し、活動していく重要さも痛感致しました。

「地域を活性化させ、未来に繋がる経済を創る。」ロータリアンが手を取り、様々な意見を出し合い、全員参加で活動し、地区補助金事業の更なる活用を継続的に行っていきたいと思えます。



第2回 クラブ研修リーダーセミナー報告

研修委員長 岩田 勝美 (羽島 RC)



1月27日(土)岐阜市のグランベール岐山に於いて今年度2回目のクラブ研修リーダーセミナーを行いました。今回は伊勢中央 RC 会員で、(株)安藤塾社長安藤大作様から「日本の青少年の現状このままで良いのか」と題して講演を頂きました。

不登校生徒は年に1万人ずつ増え、顕在化されているだけで25万人。隠れ不登校も入れると60万人。理由はいじめ等ではなく「何となく嫌」。自己肯定感を持った生徒はたった15%。15～34歳の死因第一位が自殺。引きこもりが115万人と全て先進7か国中最低との現実を知りました。

その講演を踏まえ、2011年のRI理事会に於いて廃止になったWCS(世界社会奉仕)向けの余剰金を、国内の青少年の為に奉仕プロジェクト補助金として使える事になった事を受け「WCSを日本の青少年基金に」のタイトルで参加者討論会を行いました。

各テーブルで意見交換がされ、16テーブルの代表者から意見を集約して発表して頂き、子ども食堂や出前授業など、様々な意見交換がなされました。



次期地区チーム研修セミナー

次期地区代表幹事 的場 敏訓 (名張 RC)

早いもので、地区三大研修の一つ「2024年地区チーム研修セミナー」を2月25日名鉄グランドホテルにて開催させていただきました。

セミナーは10時半に始まり16時までの7つのセッションに亘る長丁場で、ガバナーエレクトの地区活動方針の発表を始め、地区チームがひとつになった活発な意見交換が交わされました。

まず「地域にインパクトを」をスローガンに、亀井喜久雄ガバナーエレクトから次期ガバナー年度に向けた考

え方が示され、各地域内におけるクラブ活動の重要性、地区とクラブの関係強化の重要性について、パワーポイントを駆使しながら説明があり、それを受けた次期ガバナー補佐からの感想や、高橋伸治次期地区研修ファシリテーターの進行のもと地区委員会委員長の次年度に向けた抱負など、一人一人がしっかりとしたロータリー観と経験に基づくコメントを出され、次年度に向けてエレクト事務所としても大変貴重な意見をいただく1日となりました。



3月、4月とさらに大きな研修セミナーを控えながら、地区チームがひとつとなり、73クラブにその熱い想いが伝わり、次年度にはさらに地区とクラブが一体となった飛躍した1年となるように願っております。



国際ロータリー第2630地区 会員数報告

2024年2月分

グループ	クラブ	例会数	会員数					
			期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
桑名	桑名	2	34	0	37	0	5	2
	桑名西	2	28	1	30	1	2	0
	桑名中央	2	28	3	26	3	1	2
	桑名北	2	29	5	28	5	0	1
	グループ計(4)		119	9	122	9	8	5
四日市	四日市	4	82	2	93	2	14	3
	四日市北	3	20	4	20	4	0	0
	四日市西	3	74	4	75	4	2	1
	四日市南	4	30	4	31	4	1	0
	四日市東	2	31	0	34	0	3	0
	グループ計(5)		237	14	253	14	20	4
鈴鹿・亀山	鈴鹿	4	69	10	74	10	7	2
	鈴鹿西	2	28	7	29	6	2	1
	鈴鹿ベイ	3	12	0	11	0	0	1
	亀山	2	10	0	10	0	1	0
	鈴鹿シティ	4	58	2	71	4	13	0
グループ計(5)		177	19	196	20	23	4	
中勢・伊賀	津	4	63	1	64	1	5	4
	上野	4	34	2	38	5	4	0
	名張	2	36	1	40	3	5	1
	津南	2	43	2	43	2	2	2
	津北	4	49	4	53	4	4	0
	上野東	4	37	2	36	2	0	1
	久居	2	28	3	29	4	2	1
	名張中央	4	19	2	20	2	1	0
	グループ計(8)		309	17	323	23	23	9
松阪・東紀州	松阪	4	73	0	75	0	2	0
	松阪東	3	70	14	74	14	4	0
	熊野	3	35	5	38	5	4	1
	尾鷲	4	11	2	11	2	1	1
	松阪山桜	5	38	3	39	4	2	1
	グループ計(5)		227	24	237	25	13	3
伊勢・鳥羽・志摩	伊勢	3	50	0	50	0	2	2
	鳥羽	3	30	3	31	3	1	0
	伊勢南	4	41	5	38	4	0	3
	志摩	4	42	12	40	11	0	2
	伊勢中央	3	44	0	47	0	5	2
	伊勢度会		16	4	16	4	0	0
	グループ計(6)		223	24	222	22	8	9
三重県合計(33)		1,292	107	1,353	113	95	34	

■2023年2月(前年度) 会員数報告

	期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
三重県合計(33)	1,283	101	1,335	109	84	32
岐阜県合計(40)	1,711	75	1,760	81	96	47
地区合計(73)	2,994	176	3,095	190	180	79

グループ	クラブ	例会数	会員数					
			期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
岐阜A	岐阜	3	75	2	84	2	10	1
	岐阜西	2	41	0	41	0	0	0
	岐阜長良川	3	40	0	42	0	3	1
	岐阜北	3	36	4	34	4	1	3
	岐阜中	2	26	1	24	1	0	2
	グループ計(5)		218	7	225	7	14	7
岐阜B	岐阜南	4	83	9	85	10	4	2
	岐阜東	3	40	2	42	2	4	2
	岐阜東南	3	35	0	34	2	3	4
	岐阜加納	3	87	0	88	2	5	4
	岐阜エトス	3	17	2	17	2	1	1
	岐阜城	3	18	0	20	0	2	0
グループ計(6)		280	13	286	18	19	13	
岐阜西濃	大垣	3	85	2	91	3	6	0
	大垣西	4	79	0	80	0	2	1
	本巣	2	27	1	26	1	0	1
	羽島	4	35	2	34	2	1	2
	不破	3	26	0	25	0	0	1
	大垣中	2	61	3	60	3	1	2
	大垣センチュリー	3	49	4	52	4	4	1
	岐阜淡墨	4	16	1	17	1	1	0
	岐阜サンリバー	3	17	4	17	4	0	0
	グループ計(9)		395	17	402	18	15	8
岐阜東濃	多治見	4	53	4	59	4	6	0
	中津川	2	69	3	70	4	4	3
	瑞浪	3	61	1	62	1	4	3
	恵那	2	46	3	50	4	4	0
	土岐	2	36	2	38	2	3	1
	多治見西	4	30	3	36	3	6	0
	中津川センター	3	57	2	59	2	4	2
	多治見リバーサイド	4	51	1	61	4	10	0
グループ計(8)		403	19	435	24	41	9	
東海北陸道	美濃	3	18	0	19	0	1	0
	各務原	2	29	1	36	4	7	0
	関	2	45	2	45	2	1	1
	郡上八幡	4	36	2	37	2	2	1
	関中央	3	27	0	28	0	1	0
	郡上長良川	4	32	5	33	5	1	0
	グループ計(6)		187	10	198	13	13	2
濃飛	高山	4	34	0	36	0	2	0
	下呂	2	26	1	32	3	6	0
	高山西	3	36	2	36	2	1	1
	美濃加茂	3	41	4	41	5	2	2
	可児	3	40	1	40	1	0	0
	高山中央	2	54	3	54	3	2	2
グループ計(6)		231	11	239	14	13	5	
岐阜県合計(40)		1,714	77	1,785	94	115	44	
地区合計(73)		3,006	184	3,138	207	210	78	

2024年2月分

入会会員					
 加藤 常敏 2024. 2. 2 入会 総合建設	 服部 清 2024. 2. 1 入会 土木建設業	 香月 美穂 2024. 2. 5 入会 エステサロン	 須藤 済 2024. 2. 1 入会 損害保険	 半澤 真理子 2024. 2. 1 入会 飲食業	 青木 友里 2024. 2. 9 入会 行政書士
 金澤 みさ子 2024. 2. 9 入会 化粧品製造・販売	 長野 貴仁 2024. 2. 9 入会 空調施設	 今井 宏治 2024. 2. 28 入会 包装材料製造販売	 渡邊 裕文 2024. 2. 28 入会 ステンレス加工	 松田 純 2024. 2. 28 入会 紙器製造業	 今井 隆治 2024. 2. 1 入会 飲食業
 元村 英之 2024. 2. 1 入会 電気工事	 古田 守 2024. 2. 9 入会 内科医	 小山 育子 2024. 2. 28 入会 小売業	 細江 洋司 2024. 2. 1 入会 ケーブルテレビ		

逝去会員
 由良 久 1968. 3. 29 入会 2024. 2. 6 逝去 1975-76 年度幹事 1995-96 年度会長 2008-09 ガバナー 米山功労者マルチプル ボール・ハリス・ フェロー・マルチプル 謹んでご冥福を お祈り申し上げます

ガバナーノミニー決定宣言

2025-26年度国際ロータリー第2630地区ガバナーノミニーの選出について

地区指名委員会において、玉野 英美 君（桑名北ロータリークラブ所属）が指名されました。また、対立候補者がなく、国際ロータリー細則12.030.（指名委員会手続）に基づき、同君を2025-26年度ガバナーノミニーと決定し、ここに宣言いたします。

国際ロータリー第2630地区
2023-24年度 ガバナー 篠原 一行

2025-26年度ガバナーノミニー



会 員 名 玉野 英美 (たまの ひでみ)
生 年 月 日 1969年4月5日
所 属 ク ラ ブ 桑名北ロータリークラブ
職 業 分 類 旅行業
勤 務 先 ・ 役 職 たどトラベルサロン代表
学 歴 中京女子大学短期大学部・体育学科 卒業
公 職 三重県商工会女性部連合会 副会長
 桑名三川商工会 女性部長・兼理事
 多度町観光協会 会計理事
 四日市メリノール学院高等学校同窓会 副会長
ロータリー歴 2007年 桑名北ロータリークラブ入会
 2019-20年 クラブ幹事
 2022-23年 クラブ会長
 ボール・ハリス・フェロー +1

第8回ポリオ根絶チャリティコンサート

ロータリー財団 学友会 会長 小林 史子

ロータリアンの皆様、ありがとうございました。お陰様で過日の第8回ポリオ根絶チャリティコンサートを終了させていただくことが出来ました。心より御礼申し上げます。

このコンサート開催につきましては、宣伝活動やチケットの購入は勿論、コンサートの進行、細かくは開演前の準備などきめ細やかなお心遣いをいただいたことで開催することができ、結果として今回も100万円を寄付させていただくことができました。ロータリー財団奨学金で勉強させていただいた私たち学友の感謝の気持ちをポリオ根絶チャリティコンサートで表し、ロータリー活動に少しでも協力させていただくことが出来ましたのなら幸いです。

これからも学友会の皆の心を一つにしてロータリーのお手伝いができますよう努力してまいりたいと存じます。今後共よろしく願いいたします。



「神言修道会多治見修道院」

ガバナー月信 表紙説明



多治見市にある神言修道院は、日本三大修道院の一つで1930年(昭和5年)カトリック神言修道会(神言会)の宣教師モール神父によって設立されました。当時は、外国からの宣教師が大勢ここに来られ、日本語の勉強をしながら修道生活を送り、又、キリスト教を宣教するため派遣されていました。

修道院の建物は、地上三階、地下一階の木造建築で、建坪1千坪、ぶどう畑は3千坪総面積1万8千坪あります。修道院建物の周囲に広がるぶどう畑で栽培されているぶどうは、1933年から修道院の地下室で醸造され、「多治見修道院ワイン」として多くの方々に愛飲されてきました。

虎溪山を挟んで北谷には仏教禅宗の修行道場「永保寺」があり、南麓を下った所にはキリスト教の修道場「多治見修道院」と同じ場所に東西宗教文化の拠点が混在する珍しい土地柄です。

中世ヨーロッパを偲ばせる雰囲気を持つ神言修道院は、魅力あふれる修道院として、多くの人々の憩いの場として虎溪山永保寺とともに、長年市民に親しまれています。

2023-2024年度 地区事務所・ガバナー事務所・地区大会事務所 案内

地区事務所	〒500-8212 岐阜県岐阜市日野南3-5-16 TEL 058-248-9724 FAX 058-248-9725 E-mail: branch@rid2630.org	執務時間 9:30-17:30 (土・日・祝日 休務)
ガバナー事務所 地区大会事務所	〒507-0036 岐阜県多治見市田代町3-21-1 TEL 0572-56-2630 FAX 0572-56-2631 E-mail: 2324@rid2630.org (ガバナー事務所) E-mail: 2324taikai@rid2630.org (地区大会事務所)	執務時間 10:00-16:00 (土・日・祝日 休務)